

第3回 笛吹市介護保険運営協議会

議 事 要 旨

開催日時：令和2年12月7日（月）午後1時30分～午後3時

開催場所：笛吹市役所市民窓口館3階302会議室

出席者（委員10名）

（委員）中村委員、近藤委員、佐藤委員、雨宮委員、荻野（健）委員、荻野（陽）委員、竹内委員、久保田委員、武川委員、伊原委員

（欠席） 芦澤委員、須田委員、霜村委員

（事務局）保健福祉部 飯島部長

長寿介護課 新開課長

長寿介護課 5名

事業計画策定業務受託事業者 1名

傍聴人：2名

【次第】

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) サービス見込量について

(2) 介護保険料算定について

(3) その他

4 その他

5 閉会

【議事（要旨）】

(1) サービス見込量について

事務局より資料に基づき説明

委員長 ご質問等ありますか。

特になし

(2) 介護保険料算定について

事務局より資料に基づき説明

委員長 ご質問等ありますか。

委員 所得段階の変更について、新設の 12 段階と 13 段階の掛け率の根拠はあるか？

事務局 特にありません。9 段階から 11 段階までの 0.1 ずつ上昇している物を引き延ばした考え方です。

委員 基金の取り崩し額の試算は、3 年間での金額か？

事務局 そのとおりです。

委員 基金はどのように管理されているのか？

事務局 現在は金融機関の定期預金に預けてあります。

委員 利息がついて増えるということか？

事務局 はい、来年度の当初予算に利息分の歳入として 20 万円ほどを見込み、計上してあります。

委員 今年度基金が増えたことは、結果として偶然だったのか、ある程度想定していたのか？

事務局 ある程度の想定はしておりましたが、想定以上の金額となりました。

委員 2025年問題が含まれる第9期に給付費の増加が見込まれるので、基金を備えておきたいとのことだが、どの程度の金額が必要か？

事務局 現在の試算で15億円の増加を見込んでいます。その23%相当は3億5千万円ほどです。

委員 第8期で基金への積立は見込んでいるか？

事務局 第8期での基金への積立は見込んでいません。

委員 地域支援事業費について、増額する思いはあるか？

事務局 地域支援事業費は上限額が決まっており、試算の事業費は上限額いっぱいで見込んであります。これ以上は、補助が受けられないので全額介護保険料を充当することになるため、増額は想定していません。

委員 2025年で高齢化が終わって下がっていく訳ではなく、上がり続け2040年にも大きな節目が見込まれている中で、短期的よりも長期的な視点で考えて、第8期は基金を取り崩さないのはどうか？

委員 保険料の算定の中に、年金額の増減は考慮されているか？

事務局 年金の受給額については、算定に考慮されていません。

委員 私はあと10年ほどで介護保険料を支払い始める年齢です。高齢化が進むので保険料が上昇することは理解できますが、上昇を緩やかにしていただけるような方向性でお願いしたいと思います。

事務局 第6期までは基金がほとんどない状態で運営を行ってきましたが、今回ある程度の基金を積み立てることができました。今後は、少しずつ基金を使って保険料の上昇幅を抑えるようにしていきたいと考えています。

委員 今の介護保険料は高いと思う、長期的な視点に軸足を置きつつ、基金は取り崩さずに、試算どおり第8期は下げる方向が良いと思います。

委員 私も賛成です。

事務局 所得段階を 13 段階に変更すると、13 段階の方のみ増額になってしまうので、その点をご配慮していただきたい。

委員 12 段階にすれば、全員減額になるのではないか？

事務局 おっしゃる通りです、検討させていただきます。

委員 新型コロナウイルスによって、収入が減ったという話をよく聞きます。長期的な考え方はもちろん必要ですが、今の特殊事情を考慮して許される範囲で出来る限り保険料を減額してあげて欲しい。

事務局 分かりました。

委員長 他にご意見等ありますか？

特になし

(3) その他

委員長 何かございますか。

特になし

【閉会】